

6年生のフラッグフットボール

—実践をプロデュース—

2013年5月に交通事故にあい、2学期から休職した。休職することで肉体的にも精神的にも少し余裕ができた。その時、同じ学校で勤務しているH先生から、体育の実践がしたいのだから何か面白い教材はないかとの相談を受けた。今までなら、輝くシリーズの本を渡したり、持っている資料を渡したりするだけだったのだが、私が考えた実践計画を基に、体育実践をしてもらおうと投げかけた。同志会実践をしてもらうことで、少しでも教師とは何かを感じるきっかけになればと思った。

実践の現場

6年生の児童には気になるTくんがいました。学力はかなり低く、ひらがなを書くことで精いっぱいです。同学年の子と会話をしていても成立しない時がよくありました。保護者は同学年の子どもたちと同じように授業を受けさせてほしいということ強く言い、すべての教科を6年児童と一緒に受けていました。Tくんにあった学習ができていないことや、様々な力をクラスの中でつけてあげられているのかが悩みでした。

実践計画（○の中の数字は時数）

0次 オリエンテーション①

キャプテン、チーム決め

1次 体育の流れをつかむ①

しっぽ取りとインバーダーゲーム① 王様インバーダー①

2次 2：2②※ランのみ

実践進行ポイント

攻守同人数によるラン攻撃での行き詰まり⇒ハンドオフ、攻撃+1

3次 3：2②※ラン、ハンドオフ

実践進行ポイント

攻撃優位の状況により守備を増やす。しかし、攻守同数になることにより守備優位の状況になるのでパス攻撃へ

4次 3：3③

※ラン、ハンドオフ、パス フラフト大会② 計13時間

付けたい技術、わからせたい内容

- ・スキが分かり、スキをついて走りこむことができる・あいている場所が分かり走りこむことができる・ガードの仕方がわかり、できる・ガードの背中を通ればいいことがわかり、できる・ハンドオフの仕方がわかり、できる。・パスをすることができる
- ・作戦をチームで考えることができる。・その場の状況にあった作戦を選択し、成果を振り返ることができる。

ざっくりとした実践報告（○は実践時間）

①オリエンテーション

どの子も初めてするスポーツだったので「早くやりたい。」といった感じだった。

②学習の流れをつかむ。しっぽ取り。

途中で急に雨が降ってきた。「もうやめようか」と言う。「いややー！チャイムなるまでやり

たい！」と子どもたちは言い、雨の中びしょびしょになってしっぼ取りをしていた。

③しっぼ取り、インベーダーゲーム

Tは仲間がとられたタオルをせっせと拾って渡してあげて活躍していた。(仲間がタオルを拾えば復活できる) インベーダーゲームが終わると、Yが泣いていた。理由を聞くとYが毎回突破できてない事実が判明。

④インベーダーゲーム、王様インベーダー

王様インベーダーでは、攻撃するとき、フェイントや王様を通らせる道を作るといいことに気づき、行動に移していた。Tも王様のタオルを取ろうと頑張っていた。

⑤ためしの2対2 (ラン学習)

ゲームではガードの意識をもって動こうとしていたが、2人のコンビネーションがうまくいかないので、作戦を決めていかないといけないということに気づいていった。

⑤2対2 (ラン学習)

ガードの意識は高まったようだったが、一人をしっかりガードすることにより、もう一人の守備が空く状態が生まれてきた。結果子どもたちは、攻撃の手詰まり感を感じていた。

⑥3対2 (ハンドオフ)

攻めが優位になったにもかかわらず、ゲームを行うとどのチームも作戦通りにはいかなかった。ボールを隠せていないので持っている人が分かってしまい、フラッグがとられるのではないかと考えた。QBサックに行っていないのではないかという話にもなった。

⑦3対2 (ハンドオフ)

練習時間を多くとったので、ハンドオフが上手になり、だまして4点を取り喜ぶ子どもの姿を思い描いていたが、なかなかうまくいっていない。正直どうすればハンドオフが作戦の1つとして、有効的に使えるまで持っていけるのかが分からなかった。

⑧教室 作戦づくり

雨だったので作戦を考えた。考えた作戦は作戦カードに記入しまとめていった。

⑨3対3 (パス学習)

ハンドオフに行き詰まりを感じながらもパス学習に移ることにした。守備の人数も1人増やした。この時間からは、今まで学習したことを作戦ですべて使っているようにし、子どもたちは作戦カードの中から作戦を選んでゲームに臨んでいた。

⑩フラフト大会

ラン、パス作戦を使うチームが多く、ハンドオフはあまり出てこなかった。もう少し時間をかけていけば、状況にあった作戦を選択実行することができていたのではと思った。

H先生の感想

実践をしてみてとにかく難しかったです。理由はハンドオフがうまくいかなかったからですが、自分の勉強不足と、「隠す」と「だます」の違いが頭の中でよく理解できなかったからだと思います。子どもたちは頭を使って考えていました。今回初めてグループノートを作って学習を行いました。グループノートは自分の感想や分かったことだけでなく、グループの友達の感想や意見もグループのみんなで読み合ったり、共有したりすることができるので、すごくよかったです。ノートの中で、互いに友だちへコメントし合ったり、友だちの成長を喜んでいたりするコメントもありました。もう一度実践してみたい気持ちはありますが、どうやればハンドオフがうまくいくのかわからないので、しっかり勉強したいと思います。